

松戸ロータリークラブ会報

第2692回 例会

No.2691

2011年9月21日 発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

■ 本日のプログラム

2011年9月21日(水)

卓話「松戸RC奨学金について」
太田原慎一 会員

■ 次回のプログラム

2011年9月28日(水)

卓話「社会奉仕について」
平松 徹 会員

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

●例会日 毎週水曜 12:30~1:30
●例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
●事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

●会長 常盤 映彦
●会長レク 加藤 栄
●副会長 島村 俊充
●幹事 中澤 雅彦
●会計 猪股 貴久
●会報委員 橋口 和幸 中田智次郎 松田 茂一
小林 登 田原 晨暁 杉浦 章浩
鈴木 昌広 車田 善教 浅井 利明
飛田 勤

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

「松戸ロータリークラブに入会して」

猪股貴久 会員



皆さんこんにちは、京葉銀行松戸支店支店長の猪股です。

7月20日の入会より2カ月足らずの若輩者でございますが、早々に卓話の機会をいただきまして誠にありがとうございます。

伝統ある松戸ロータリークラブの諸先輩方の前でお話するということが非常に緊張しておりますのでお聞き苦しいところがあるかもしれませんが本日はよろしくお願い致します。

入会時にロータリーについての活動や目的、基本的な考え方について学ばせて頂きました。しかしながらまだまだ勉強不足でありますので皆様から少しでも自分の人生にプラスになる何かを吸収できるよう努力して参りますので今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

本日は企業理念、会社方針について話してほしいと依頼がありましたので自分が歩んできた銀行員生活に乗せ、印象に残っている出来事を紐解きながらお話し、また京葉銀行の経営理念と職業奉仕について触れてみたいと思います。

新入社員時代・・・・・・・・

私のはじめての赴任地は隣街の市川支店。何も解らない中、いきなり相談窓口を任せられ、商品知識・事務ノウハウもないまま直属の事務主任に聞きながら対応しておりました。如何せんその場しのぎの仕事！・・・勘定違算や事務ミスを連発してしまい、年下の女性行員から冷やかな目で見られ、もんもんとした日を過ごしておりました。学生時代にはサークル等で女性のハートをグリップし統率しておりましたので、女性の強さをはじめて知ることになりました。参考までに女性の強さを2度目に知ったのは今の嫁さんであります。

子供を生んだ後の女性は特に強いですよ～。

半年ほど経過し貸付係に係替となり、仕えた上司に恵まれたことで仕事の楽しさを知り貪欲に働いた記憶が今もよみがえります。その当時の市川支店のトップ3と言われた企業の担当にすることを他の役席から大反対のある中、この直属上司が支店長に「猪股のことは私に任せて欲しい」と強く具申したことで決定しました。この経緯(いきさつ)を後で支店長から聞かされ涙するとともにこの上司を裏切るわけにはいかないと決意を固め、役員決裁稟議の作成やひるまない交渉を重ねてまいりました。今の自分があるのは正にこの時期に基礎を徹底的に身に着けたこと、上司から信頼された環境で働けたことにあります。

以上が新入社員時代の挫折を乗り越えるまでの回想となりますが、部下に対する信頼と職場環境の大切さを身につけた1場面となりました。

涉外係(得意先係)になって・・・・・・・・

入社して2年9カ月経った冬、正月休み明けに支店長に呼ばれました。あと3カ月で任期満了で転勤だなあと考えていたこともあり何んだらうなあ～と考えながら支店長室に入りました。

そこで支店長より涉外係への係替を命じられました。心の準備もなく、まだ正月気分が出社した年初に予想だにできなかった言葉！自分の耳を疑い、支店長に「もう一度伺ってもよろしいですか」と質問した記憶があります。

支店長から涉外の心構えを一時間程度聞かされましたが全く耳に入らず、「ハトが豆鉄砲をくらう」といった状況でした。

今回の係替も直属上司の具申があったことは言うまでもありません。この上司が自分の目標とする銀行員像になったのもこの瞬間でした。

涉外係(得意先係)での失敗談

怖いもの知らずで血気盛んであった私が営業活動をする中、今でも記録と記憶に残る珍事件をご紹介しますことで私の人間性を皆さんにご紹介いたします。

県内一流の企業への新規法人開拓訪問時の出来事です。当店の上層部をはじめとし開拓訪問を行っても取引に至らず、先輩行員からも「行っても無駄だよ！」と聞かされていた企業が担当エリアにありました。じゃあ、取引出来たら天下取れるなと考え、アポ取りもせず訪問しました。たまた

ま運も良かったのでしょう、社長室に通されました。社長が入って来たたとたんにスッと右手を差し出してきました。その瞬間私は何も考えることなく両手でその手を握り「よろしく申し上げます」と言っていました。

そうなのです、その右手がどうぞお座り下さいを意味する右手であったことは言うまでもありません。その後、私を見る社長の違和感のある目を気にすることなく「300万円借りてください、金利は社長に任せます」と熱く語りその場を退出いたしました。

帰り際に社長様より「猪股くん、おもしろいやつだな！」と言われましたが、その場の出来事に対し何の違和感もなく支店に帰店しました。支店に帰ったら支店長を含めた役席達がざわざわしており、私の顔を見るなり、まず第一声「猪股、

社長に何した？」と問い詰められ、「何したも、新規法人開拓セールスしてきました」と回答し、正直なところ何が起きているか認識していない自分としては慨然とした態度を取っていました。

その後上司より「良くやった」と褒められました。

私が帰店中にその社長様から支店長宛に「お宅と取引したい、条件を改めて提示していただきたい」との連絡が入っていたことを聞かされその場の状況を納得しました。

これを契機にその企業とは市川支店の3本の指に入るお付き合いを今もしており、年に1~2回程度社長さんともプライベートでのお付き合いもさせていただいております。

まあ、会うたびに「私の右手を取って握手したのはお前だけだ、でもまさかワザとやってないよな」と言うのが毎回いただく言葉となっております。

この企業は私にとって初の法人開拓先であり記録と記憶に残る珍事件になったと同時に常に前向きに仕事をする、企業の規模の大小に囚われることなくアプローチするハートを身に着けることができた大きな経験となりました。

人生を変える転機

入行6年目、支店も変わり柏支店の営業係長として日夜努力していた時に銀行サイドから企業内組合の執行部入りの打診がありました。自分としては全く興味がなく現状のポストで“とにかく目

標は必ず達成しなければならない”ことだけを強く意識し、断りを入れておりました。何度とないアプローチがあったことから今まで仕えた支店長3名に相談したところ、執行部入りのメリットとデメリットを聞かされるとともに自分が行きたくても行けないポジションであること、当行の執行部は専従組織でないため、仕事が浦島太郎にならずに対応できる反面、完璧な二足の草鞋を履く6年間となることから精神的にも肉体的にも今まで以上の負担が課せられることを聞かされ少し時間をいただき考えることにしました。最終的には約40年間の銀行員生活の中、6年程度であれば外から見る目を持つことも自分のためになるのではないかと考え、執行部入りを決断致しました。

この6年間で短時間でお話することはできませんが、企業経営を理解しながら当行職員とその家族の生活の安定を考えた活動を行っていく上で様々な経験をすることができ、また、全国の金融機関との交流の場をいただけたことは私の人生を振り返った上でお金に換えることのできないものとなったことは言うまでもありません。

現在、支店長を3カ店やらさせていただいておりますが、何よりも難しいのが人材教育だと考えており、私の赴任店の職員には執行委員長時代に管理者教育の一環として行ったマネジメントセミナーでの1コマを必ず話し職員全員のベクトルを同一方向に向かせるよう指導しております。ここでその内容を皆様にご紹介させていただきます。

「楽しくなければ会社じゃない」

これをテーマにお話します。

これから話すことの概略が自分にとって今できる「経営理念」であり「職業奉仕」だとも考えてもおります。

心に輝きがあれば、心の中にやる気があれば、必ずどんな仕事でも活路が見出せるし、また楽しい仕事になると思います。そのためには、時代の変化というものを如何に把握しているか。そして、それに対応した体制を作っているかどうかが重要だと考えます。

世の中は“顧客満足”の時代から、“顧客感動”の時代へ変わってきております。

この時代の変化に対応するために今、京葉銀行に何が出来るか、言うまでもなく従来の常識の放棄と、新しい価値観の創造以外にないものと考えます。では銀行が持たなければならない新しい価値観とは何か？

それは、京葉銀行はお客様の未来をお預かりする責任ある情報産業だという自負ではないでしょうか。よりアクティブにお客様のニーズを先読みし、「お金」というモノではなく、それまでは付加価値だった情報を提供することに主眼を置き、積極的にお客様の幸せをサポートするという姿勢。その結果として預金や融資があるという発想の転換が必要だと考えます。そこでこのあるべき姿を実現するために職員教育の徹底に注力することが不可欠なのです。

職員の意識改革をする上で今お話した内容をそのまま話しても性別・年齢・職位等々により資質の格差があります。

そこで私が職員のモチベーションをあげ、主体的に動ける人材育成の題材として使うものを本日は一つ皆様にご紹介させていただきます。

松戸支店長になる前の前任店は新浦安支店にありました。近隣にオリエンタルランドさんがあり、当社を訪問する機会や会合等で加賀見会長や砂山社長とお話する機会が多くありました。その場での話題の大半が自立した従業員の育成についてであり、そこであるヒントをいただくことが出来ました。

それこそがゲストレーターです。

ゲストレーターとは来園されたお客様からいただくお褒めの言葉や苦情などの沢山のお手紙のことです。当社ではこのお手紙の開示はお褒めの言葉のみを従業員に開示しているそうです。

それは悪い話を聞かせるよりも従業員が前向きな気持ちを醸成し、一人ひとりが主体的に事にあたれる資質を作るための方策として行っているのです。今年の3月11日の東日本大震災の時のオリエンタルランドにおける来園者への緊急対応もこのように一人ひとりの独自性を創り出す社員教育のレスポンスの強さにあったものと考えます。

このゲストレーターの中で当行職員の意識改革に非常に役立つコラムをここで読ませていただきます。

お子さんを亡くした若いご夫婦がディズニーランドにおいでになった時の話です。

「今月、数年ぶりに主人とディズニーランドに遊びに行かせていただきました。実はこの日は、1年前に亡くした私たちの娘の誕生日、そして命日でした。娘は体がとっても弱かったために、生まれて間もなくこの世を去ってしまい、主人と2

人、随分長い間、深い悲しみにおりました。助けてあげられなかったこと、何ひとつ我が子にしてあげられなかったこと、今でも悔やんでしかたありません。生まれてきたら、このディズニーランドに連れてきてあげたいという私たちの夢も果たすこともできず、主人と話して、この日、娘の供養のために来ることにしました。

事前にガイドブックを見て、かわいいお子様ランチがあることを知り、娘に食べさせてあげたいと思い、ワールドバザールにあるイーストサイドカフェに入りました。お子様ランチは本当は8歳以下でないと注文することができないものでしたが、お店の方に事情を話すと、快く注文を聞いてくださいました。そして、隣の4人掛けのテーブルに子供用の椅子まで用意してくださって、「3名様、こちらにどうぞ。」と席を移してくださったのです。「本日はよく来てくださいました。ご家族で楽しんで行ってくださいね。」とまるで我が子がここに一緒にいるように私たちをもてなしてくださり、主人も私も感激で胸が一杯になり、涙があふれました。娘を亡くしてから初めて親子3人であるということを感じてくださって、本当に感謝します。娘が生きていてくれたら、どんなに幸せだったろうという思いで一杯です。お店の方々にとっても親切にいただき、そしてかわいいお子様ランチも食べることができて、娘もさぞ喜んでいたと思います。思いもよらぬ皆様の温かなおもてなしのお陰で、とてもよい思い出ができましたし、娘のためにもとてもよい供養ができたと思います。親子3人で楽しいひとときを過ごさせていただきまして、本当にありがとうございました。娘は天国へ行ってしまいましたけれど、私たちのかけがいのない大切な宝です。これからも愛し続け、一生ずっと一緒に生きていこうと思います。また娘を連れて遊びに行かせていただきます。」

お手紙は以上となりますが、これがもしマニュアル通りで、「申し訳ありません。8歳以下でないとお子様ランチを差し上げられません。」と言ったら、この夢はどうなったのでしょうか？

お客様を満足させることから脱皮し感動させるためには一人ひとりが主体的に意思決定し、一人ひとりの前向きな心の対応でしか達成できないのではないのでしょうか！

今の私にここにご列席の諸先輩方のような立派な職業奉仕理念はございませんが、まずは自分のお膝元の職員教育を行い徹底していくことから始めていきたいと考えております。

お客様の未来をお預かりし満足いただいた結果が商売繁盛につながる。これが私の職業奉仕理念

です。

長くなりましたが、今後とも諸先輩方からの貴重なお話を伺っていく上で自己研鑽し成長し続けていきたいと考えておりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

例会報告



第2691回例会 2011年9月14日

会長挨拶



常盤映彦 会長

こんにちは。

九月は旧暦では「長月」と言いますが、今月の27日が旧の1日ですから、秋分も過ぎて「夜が長くなる」からです。

今は太陽暦で太陽中心になり、「日が短くなった」というようになりましたが、月齢は潮の満ち引きにかかわりますが昔から出産や漁業、農業にも大きな影響を与えるとされています。

「月待ち」という言葉を聞いたことがありますか？

正、五、九に精進潔斎して月の出を待ってお供えして、平安や繁盛を願って、夜通し歌舞いなどをするのです。

御覧になったでしょうが、12日が15夜で、今年にはよく晴れてきれいな月が出ました。

月待ちに対し「日待ち」というものもあります。

こちらは日の出を待つ太陽信仰から神の来臨を待つことだとされ、おなじく正、五、九に行われていました。

近年は夜の宴会、お祭りや行事の反省会など夜集まることをいうようになりました。

似たような行事に庚申というのがあります。庚申塚という猿の彫られた石塔を見たことがあると思いますが、神道では猿田彦大神、仏教では青面金剛を指します。

体内にいる三戸（さんし）が庚申の夜、眠っているうちに天に昇って人間の悪行を告げるこれを防ぐのに、その夜寝ないで酒食をする講を作って

夜明かしするというものですが、昔はそれを楽しみとしていたのかもしれませんが。

先日も話しましたが、分区の情報研修会が10月12日におこなわれます。

入会3年未満の会員は全員出席、義務会員の70%の出席要請がガバナー補佐からありました。当日は移動例会として商工会議所で例会も行います。ロータリーに関し非常に理解しておられる方が、講師でお出でになりますので是非ご出席ください。

また、被災者支援として考えておりますクラブの奨学金の希望者がございましたので、理事会で諮って支給することにいたします。

幹事報告

中澤雅彦 幹事



1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内

本日例会終了後、クラブ協議会がございます。該当する役員の方はご出席願います。

尚、次回のクラブ協議会は第3週の11月16日(水)に変更になりますのでご注意願います。

第3回理事会報告が、本日の会報に掲載されておりますのでご確認願います。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

「ロータリーの友」英語版11月中旬発行にあたり注文書が届いております。

注文期日は、10月14日(金)迄となっております。

3. 他クラブ会報・その他

会報が柏RCより届いております。

- 4 例会変更の連絡
特にありません。
- 5 その他
特にありません。

例 会 報 告

[出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席41名	義務会員35名	免除会員 6名
仮欠11名	義務会員 8名	免除会員 3名

[欠席者]

鎌倉 康裕君	島村 善行君	大川 吉美君
森田 雅久君	小林 登君	松葉 則明君
川並 芳純君	林 希一君	

[M U]

島村 俊充君	米山懇親会	9月11日
松本 幸夫君	鎌ヶ谷RC	9月13日
土肥伸一郎君	鎌ヶ谷RC	9月13日
小林 孝数君	地区環境模擬国連	9月8日

本日出席率	83.67%
先々週出席率修正	85.42% 89.58%

委 員 会 報 告



クラブ研修委員会 湯本高之 委員長

9月28日(水) PM 2:00から
ユニティビルでクラブ研修会
がありますので、参加をお待
ちしております。



米山奨学委員会 山田達郎 委員長

8月27日(土) 地区の米山セ
ミナーに参加してきました。
来月は米山月間に当クラブの
奨学生劉薇さんに卓話を頂き
ます。

御 報 告



第2790地区環境委員会 小林孝数 委員

地区大会において、「大気
汚染について...」を題材に模
擬国連が開催されます。



山田達郎 ガバナー補佐幹事

10月12日(水)に松戸クラブの
例会に引き続き、商工会館で
情報研究会を開催いたしま
す。よろしくお願いいたしま
す。

ニコニコBOX

柳澤 正敏君 / 結婚祝いを頂きまして、ありが
うございました。何とか、それなりに、うまく行
って居りますのも、ロータリークラブの皆々様
のおかげと思って居ります。宜しくお願
い致します。

杉浦 章浩君 / 昨日十日会にて優勝させて頂き
ました。後にも先にももうないと思っ
てます。

ニコニコBOX	当日 ¥15,000	累計 ¥288,000
財 団BOX	当日 ¥3,141	累計 ¥37,774

文責 / 橋口

